

令和4年度地方創生臨時交付金事業 事業効果検証資料

事業名	にかほ市観光DX事業
事業期間	令和4年11月7日～令和5年3月27日
事業費	5,154,820円
事業対象	市内観光事業者
実施方法	直営 委託・補助金交付・助成金交付
事業目的	<p>コロナ禍によりニーズの高まった自然ツアーに対応すべく、本市の主要観光資源である鳥海山や九十九島の成り立ちについて、DX技術を駆使した新たな観光資源を創出し、落ち込んだ観光事業の回復を目指す。昨年度に構築したARシステムによる、鳥海山の噴火（山体崩壊）の様子や地震で九十九島が隆起する様子を観光拠点センター等で手軽にVR体験できるシステムを構築することで、現地に足を運びたくなる新たな仕掛けづくりを行う。</p>
事業概要	<p>VR体験メニュー作成、VR体験システム構築 ノートPC（付属品一式）…1台購入 液晶モニター（付属品一式）…1台購入 現地調整、サブスクリプション、サーバーシステム運用</p>
スケジュール	<p>令和4年 10月31日 業務執行 11月7日 契約締結 11月7日～令和5年3月27日 システム構築 令和5年 3月27日 完成検査 3月27日～3月31日 観光拠点センターにかほっとで運用</p>
効果検証	<p>ARの効果測定では体験者数は4地点で合計11,115人となった。この測定で見えてきた課題は、屋外でのAR体験は天候や時期が影響するため、特に冬期間の体験者数は著しく低下する。そこでARシステム構築のデータをVR技術に活用することで、一年を通して鳥海山の山体崩壊の様子や、瀧に島々が浮かぶ往時の象瀧九十九島の様子、日本海を航行する北前船からの景色の体験コンテンツを構築することで、より多くの観光客が訪れる目的とする観光コンテンツになると思われる。</p> <p>今後は鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会とも連携し、子供達に自分が住んでいる地域の成り立ちを学ぶ機会の創出や、需要が高まってきた教育旅行の誘致などにも広く活用していきたい。</p>